



絵:「生命のアキペラ」作: 大小島真木氏

東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センターエントランスの天井に描かれています。

## 令和 4 年度の歩み

今年度もスタート当初からコロナ禍の影響に振り回されている中での活動となりました。行動範囲に制約がある中で、できることを確実に実行に移す姿勢で、活動に取り組んでいます。10月に入り、新型コロナウイルス感染者数も下火に推移しており、感染防止対策を行い活動することができる状況になりつつあります。本年度上期の活動状況についてお報せいたします。

### ◆情報発信と会員数確保

情報発信はホームページ IWATE-ECO を中心に SNS やブログで環境学習や地球温暖化防止や対策、SDGs に関するイベント等の情報発信に継続して取り組んでいます。

会員数は年度当初 79 会員から 7 会員の退会により 72 会員(10月現在)に減少しています。退会理由は殆ど高齢化によるものです。今年度の方針に掲げているとおり、会員獲得に向けてリーフレットの整備計画や団体による会員数の確保に向けた活動を継続しています。

### ◆非収益事業部門

#### NPJ(NewProject) 新規事業

・省エネルギー相談地域プラットフォーム構築  
省エネ診断仕掛件数は 33 件(10月現在)を数えており、早昨年度の 51 件に迫る状況です。省エネ取り組みへの関心度が高まっていることを感じさせられます。

#### ・SHIFT 事業

1~12 社を目標として CO<sub>2</sub>削減目標を盛り込んだ脱炭素促進計画策定支援および計画に基づく設備更新補助に取り組んでいます。現時点具体的な成果を生み出すに至ってはいません。継続して取り組んでまいります。

#### ・緑の募金

県立大および釜石東中学校と連携しての海岸林再生活動の取り組みを推進しています。計 4 回活動。

#### ・地域における地球温暖化防止活動

#### 促進事業

SDGs カフェ運営サポートなど当初計画に基づいて継続して取り組みを進めています。

現在、6事業(アイナ夜学、着物リメイクファッションショー、エコアート、アース王子の環境教育、SDGsカフェ、森と海をつなぐプロジェクト)を設けています。アース王子の環境教育は残念ながらコロナ禍の影響で活動の停滞を余儀なくされていますが、次年度活動に向けた準備を進めているところです。

#### ・アイナ夜学

コロナ禍の影響により Zoom によるオンライン形式に開催方式を切り替えて開催され7回を数えております。夜学の間では環境や温暖化に関わらず様々な事柄がテーマとして活発に議論されています。

#### ・着物リメイクファッションショー

10月15日開催いたしました。今回も密を避けながらの開催になりましたが、多くの方の協力でリメイクの楽しさ・大切さが伝わったショーになりました。



#### ・エコアート活動

コロナ禍の影響を見ながら5月から活動しました。また、エコアート巡回展として環境学習交流センターを皮切りに、7月釜石鶴住居トモス、8月に東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センターのエンタランスで作品展を催しました。沿岸および県外の多くの方々に観覧いただき好評でした。エコアート参加者の皆さんは次回の作品展示に向けて絵筆を振るって取り組んでいます。



#### ・SDGs カフェ

コロナ禍の中でも開催方式をハイブリッド方式に切り替えて毎月第3水曜日に開催しています。番外編含み9回(10月現在)の開催を重ねました。多様な人材が集結し、様々な話題や取組みを共有できるコミュニケーションの場として益々、重要な役割を担っています。

#### ・森と海をつなぐプロジェクト

生物多様性を中心に東京大学大気海洋研究所(以下、東大大気海洋研と略す)と盛岡市動物公園(ZOOMO)の3者が連携して内陸と沿岸を結んで多種多様な交流の場と情報共有を図り活動につなげて行くことを目的に取り組んでいます。環境学習講座やこどもエコクラブ交流会などに活用され、更に今後の拡大に期待を膨らませているところです。7月30日にはグリーンスマイルキッズが主催するアメリカザリガニ釣り大会開催に協力し、特定外来種の駆除に貢献できたかなと思うところです。(釣果266匹!!)



#### ◆収益事業部門

##### ・環境学習交流センター管理・運営

センター展示やイベント開催に工夫を重ね、新型コロナウイルス感染予防を行いながら適正な運用を心掛けて取り組んでいます。展示やイベントには「森と海をつなぐプロジェクト」のネットワークを活用し、盛岡市動物公園(ZOOMO)の協力による展示や、こどもエコクラブ交流会で東大大気海洋研にイベント協力をいただくなどして取り組んでいます。少しずつウィズコロナが進み活動が活発になってきています。



- ・岩手県地球温暖化防止活動推進センター  
家庭のエコチェック実施と省エネ節電キャンペーン応募者が低迷していますが、着実に事業は進めています。少しずつウイングコトが進み活動が活発になってきています。
- ・森のゼミナール  
7つの小学校で森林学習会を実施。例年通り計画的に進めています。

## お知らせ！！

### ◆ホームページ更新

昨年度、アイナの情報システムが更新されたことに伴って、環境学習交流センター・岩手県地球温暖化防止活動推進センターのサイトをアイナ情報システム環境に移して見やすく変更しました。是非ともご利用ください。  
接続 URL は以下の通りです。

<https://www.aiina.jp/site/environment/>



### ◆センター展示に多様性

展示内容や設備などに創意工夫を重ねながら様々な表現を行っています。

- ・大型モニタ(55インチ)設置  
環境学習講座や訪問学習、アイナ来場者への情報発信など活用に活用できます。
- ・岩手県産材の展示台とワゴンを導入  
岩手県産材による木質化を進めて、木の温もりが感じられるセンターに変化していきます。これからの木質化に期待です。



### ◆新たなチャレンジ

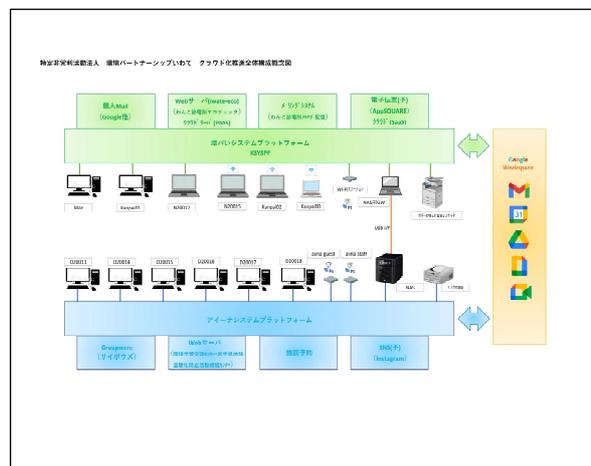
センター事業の取り組みとして、環境学習講座内容や訪問学習内容に、従来のプログラム以外のエッセンスを盛り込んだカリキュラムを実施しました。

- ・いわての学生が描く未来環境ミーティング  
岩大、県立大、富士大の学生達が参加して、現状の課題を抽出しどのような未来につながって欲しいのかをワークショップ形式でディスカッションを行いました。これから社会の中心となる若者たちの想いと将来像が垣間見えた環境学習講座でした。
- ・岩大附属中を迎えての学習会開催  
温暖化が海に与える影響と生物多様性について説明し、中学生の皆が考えるこれからの取り組むことについて一緒に考えてみました。

### ◆IT化とDXの推進

今年度は、作業インフラの整備のIT化を推進しDXに向けた準備を進めています。  
サーバのクラウド化推進として、IWATE-ECOやわんこ節電所、メール配信サーバ、伝票電子化に伴う電子伝票システム導入等々を計画しています。また、GoogleWorkspaceをプラットフォームの中心とし、アイナシステムと環境システムの連携も視野に入れながら計画進行中です。

### ＜全体イメージ図＞



## 今年度からの執行体制

6月25日(土)に開催された総会で役員改選が行われ、監事2名理事11名体制で進めることが承認されました。

### 役員 (敬称略)

監事 伊藤 憲三  
監事 館川 浩  
理事 坂下 洋子  
理事 櫻井 則彰  
理事 佐々木 明宏  
理事 佐藤 清忠  
理事 佐藤 澄子  
理事 渋谷 晃太郎  
理事 野澤 日出夫  
理事 丸尾 美由紀  
理事 向井田 岳  
理事 森 一夫  
理事 吉田 政司

## お願い

### ■ご寄付について

環境パートナーシップいわては、「岩手の環境をより良いものとし未来の世代に継承する」理念のもと活動しております。

特に自主事業として当法人独自の活動、

- エコアート(震災復興支援+メンタル改善)
- 着物リメイク(震災復興支援+リサイクル)
- アイーナ夜学(持続可能な地域社会の実現)
- SDGsカフェ(持続可能な開発目標の達成)
- アース王子の環境教育(こどもエコサイクル)
- 森と海をつなぐプロジェクト(ネットワーク形成)

に継続して取り組むために、皆様のご支援が必要です。

当法人の活動にご賛同いただき是非ともご寄付をお待ちしております。振込用紙を同封して

おりますので何卒、ご協力をよろしくお願いいたします。

### ■会員募集

随時会員を募集しております。

当法人の活動にご理解いただき賛同される方、活動に参加したいとお考えの方は、当法人会員となって一緒に活動しませんか。皆さまや皆さまの周りの方などお声がけいただき、是非ともご入会ください。入会をご希望される方は、当法人事務局までお知らせください。ご連絡をお待ちしております。

### ■会費納付

令和3年度の会費をお納めいただいていない方は会費(1口3千円)の納付をお願いいたします。未納の方には、会費納付のお願いと振込用紙を同封しております。

お手数とは存じますが、何卒お納めいただきますよう、よろしくお願いいたします。

### 編集後記

秋も深まり、紅葉が色濃くなり寒い時期を迎えつつあるこの頃です。新型コロナの影響が少しずつ抑えられ人の行動が活発になりつつもあります。第37号は2022年度に取り組んでいる活動状況を中心に掲載いたしました。

これからも会員の皆様の期待にお応えし、お役に立てる活動を更に発展させてゆきます。プラットフォームの強化を図り、県内外に広く発信し続けてまいります。環境パートナーシップいわてでは、より良い活動に取り組むために皆様からのご意見をお待ちしています。

ニューズレター第37号〔令和4年10月26日発行〕

編集：環境パートナーシップいわて 事務局

〒020-0124 盛岡市厨川5-8-6

TEL 019-681-1904 FAX 019-681-1906

mail:kanpai@utopia.ocn.ne.jp